

歯髄細胞を使い 子供の難病解明

鶴見大(横浜市)と日本

けた研究に協力する。

目的の組織に分化させる

小児歯科学会は、難病の

乳歯や親知らずに含ま

ことで、病気の解明に役

小児患者の乳歯から幹細

れる「歯髄細胞」は、や

立つと期待されている。

胞を取り出して保管する

がて歯の組織になる幹細

対象とする難病は、厚

「歯髄細胞研究バンク」

胞で、簡単に採取できる

生労働省が調査研究対象

鶴見大など 研究バンク10月設立

として指定する130疾

を10月に設立する。年間

うえ増殖力が高い利点が

患。同大は昨年10月から、

60人分を目標に集め、無

ある。難病患者の歯髄細

一般の希望者の乳歯や親

料で保管。一部を研究機

胞から、あらゆる細胞に

知らずの歯髄細胞を将来

関に無償で提供し、難病

分化する人工多能性幹細

の治療目的で保管する有

の解明や治療法開発に向

胞(iPS細胞)を作り、

料のバンク事業を実施し

【須田桃子】